

教育目標と自己評価結果公表シート

作成 光明幼稚園

光明第二幼稚園

1. 本園の教育理念、方針、目標

教育理念

安心できる環境のもと、子どもと保育者との信頼関係を培い、遊びと学びを通して心と体の成長を促し、共に育ち合う。

教育方針

- 1、思いやり、優しさといった宗教的情操を養う。
- 2、友だちと仲良くし、集団の中で社会性を育てる。
- 3、よく見、よく考えるなど知的好奇心を育てる。
- 4、自分でできることは進んでやりとげる自主性を育てる。
- 5、すぐれた環境のもとで楽しく遊びながら健康な体づくりに努める。

教育目標

園生活を楽しみ、いろいろな遊びを活発に行うとともに、基本的な生活習慣や態度を身につける。
人との関わりの中で社会生活に必要な習慣や態度を身につけ、主体的に行動し充実感を味わう。
自然や身近な事象に興味や関心を持ち、豊かな心情や知的好奇心を高める。
生活の中で言葉を使って表現する意欲や態度を育て、伝え合う喜びを味わう。
さまざまな表現を楽しみ、意欲的、創造的にあそびや活動に取り組み感性を養う。

2. 各学年の主な目標

満三歳(おおむね3歳)	保育者や友だちと遊ぶ中で、自分のしたいこと、言いたいことを言葉などで表現する。
年少(おおむね4歳)	生活や遊びの中で、保育者や友だちとの関わりを広め、一緒に活動する。 園生活の中で、自分の身の回りのことを自ら行おうとする。
年中(おおむね5歳)	友だちと一緒に活動するなかで、自らの思いを相手に伝えあうことで、友だちとの関わりを深める。
年長(おおむね6歳)	一つの目標に向かい、友だちと力を合わせ活動し、主体的に園生活を進め達成感を味わう。

3. 評価項目の達成及び取組状況(光明幼稚園・光明第二幼稚園)

評価事項	主な評価項目	取組状況と課題
教育方針 経営方針	教育方針・目標の公開と達成 事業計画と園務分掌	教育目標とカリキュラムを具体化し、より自発的な活動を促す保育を進め、その達成のために事業を計画性を持って実施している。
教育保育 のありかた	指導計画と実施および評価 幼児のみとりと理解	教育目標を共有し、幼児一人ひとりの成長に応じていけるよう、ふり返りや自己評価を実施している。
教員資質 向上	教師としての資質と保育の 向上 園内研修・園外研修	園外研修は幼稚園連盟主催の研修に全員が参加、真宗保育研修、犬山市主催の研修にも参加している。今後、園内研修の充実と研修内容の共有化が課題。
保護者と 地域社会	保護者対応 地域社会との関わり	幼児の気になる行動などの保護者との課題の共有、連携の在り方を今後とも研さんしたい。 毎年、老人施設との交流、中学生、高校生の職業体験受け入れを行っている。
安全・防 災・情報管 理	危機管理	両園とも耐震工事22年度完了済。県警防犯通報システム完備。不審者情報等のメール配信実施。教職員の機器の操作等の確認と訓練の充実をはかっている。
	幼児の安全・衛生	防火訓練、防災(地震時)を年12回実施。AED講習、アレルギー対応マニュアル整備と研修を毎年実施。熱中症、インフルエンザ予防の配慮の充実の継続。
	情報管理	個人情報管理と守秘の指導、情報記載物の裁断と焼却、または手書きによる管理等を実施している。
施設設備 関係	園舎・園地・設備・遊具等の 整備・管理	遊具の業者による定期点検、必要箇所の修繕を毎年実施。安全面も重視し、取り換えも逐次実施。園児用畑を整備し、栽培・観察・体験の充実化をはかっている。
子育て支 援活動な ど	子育て支援(園庭開放他) 満3歳児受け入れ 預り保育・延長保育 特別支援教育	第二幼稚園のみ、無償園庭開放を毎月2回実施。 光明で未就園児親子教室を毎月2回実施。 各園1クラス18名。 午後5時まで。1割程度の園児が利用している。 市町、療育医療機関との連携をよりはかり対応する。
各機関と の連携	小学校との連携 市町村との連携	市指導のもと、小学校との教育保育の連携を実施。課題共有のための会議を定期的実施し、今後も継続。

4. 今後の取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み
子育て支援事業の充実	28年度に園庭開放の在り方、満3歳児の長期休業日預かり保育の実施日の見直し(春休み期間中)を行った。 29年度、プレ幼稚園を実費徴収のみの未就園児親子教室に改め実施。 今後も活動の充実をはかる。
安心安全の保育と設備	今後とも幼児の視点に立った安全教育と確保の体制、点検と見直しを通じ改善を図っていく。
幼児の成長と保育計画	園の行事と教育目標の達成を、より幼児の成長に即して計画、実践し、小学校との連携等を見据え、成長を支えるための研さんを行う。

5. 財務状況

県の指導に基づき会計処理し、公認会計士により適正であると認められている。